

令和8年6月15日

対馬市議会議長 春 田 新 一 様

産業建設委員会

委員長 糸 瀬 雅 之

産業建設委員会所管事務調査報告書

令和8年第1回対馬市議会定例会において、会議規則第111条の規定により、閉会中の所管事務調査の承認を得ておりました本委員会の調査の内容とその概要を、同規則第110条の規定により報告いたします。

本委員会は、令和8年5月25日に、「あそうベイパークの今後の運営及び事業計画について」及び「市道尾浦浅藻線改良工事の進捗状況と今後について」所管事務調査を行いました。

まず、観光推進部担当職員出席のもと、令和7年11月に完成した、あそうベイパークキャンプ場管理棟施設内の現地視察を行い、その後、美津島文化会館会議室に移動し説明を受けました。

管理棟は、木造2階建て、延床面積475.56㎡、工事費約3億4,600万円で、主要用途として温水シャワー室、ランドリー室、インフォメーション室、多目的室内にドーム型シアター等が設置されており、キャンプ場管理棟周辺に、オートサイトエリア12基、フリーサイトエリア8基、その他自動販売機エリア、ゴミステーションも設置予定であるとのことで、キャンプ場オープンは令和8年7月4日の予定であります。

あそうベイパークの今後の運営状況については、令和8年度中は、キ

キャンプ場を除く施設内は、現在の指定管理者である、グリーンアイランド合同会社が行い、施設の維持管理、利用促進及びサービス向上に努めるとのことでした。

管理棟及びキャンプ場の今後の管理運営については、管理運営業務受託者の公募を、令和8年4月28日～令和8年5月25日までの期間で実施し、受託者の選定を行うとのことでした。受託期間は、令和8年6月8日～令和9年3月31日までであります。令和9年度も同様にキャンプ施設については、引き続き業務委託とし、「あそうベイパークの公園全体の管理」と「キャンプ場施設」を分けて管理運営を行う方法と、あそうベイパーク全体を一括して、管理運営を行うか、検証期間として位置付け、令和10年度からの指定管理者制度導入に向けて、検証結果を踏まえ取り組んで行くとのことでした。

令和8年度のあそうベイパーク整備事業は、多目的広場の再整備が主な事業で、対州馬インフォメーションセンター建設工事2,020万円、曳き馬用牧柵及び展示用牧柵設置1,700万円が計画されており、あそうベイパーク整備事業は、令和8年度で最終年度となります。

委員からの意見として、キャンプ場管理棟周辺は、利用者の安全管理体制を充分考慮し、有害鳥獣対策及び事故防止対策を考えた環境整備を行って頂きたい。

多目的広場内の遊具施設周辺に、休憩所として東屋等の設置を検討して頂きたい。

多目的広場内に対州馬だけでなく、ペットの遊び場として、ドックランなどを検討して頂きたい。などの意見がありました。

次に、市道尾浦浅藻線道路改良工事の進捗状況と今後について、建設部担当職員出席のもと、安神トンネルの安神側・尾浦側それぞれの現地視察を行い、対馬市役所厳原庁舎別館大会議室にて進捗状況について説明を受けました。

本事業の目的は、対馬市唯一のゴミ焼却施設「対馬クリーンセンター」が平成14年に建設されたことにより、安神地区に至る現道は幅員狭小

で、急勾配、急カーブであるためゴミ収集運搬大型車輛の通行に伴い、車同士の離合や事故発生の危険性はさらに上昇し逼迫状態であり、ゴミ収集における運搬コスト削減、水産物、林産物の輸送時の安心安全な運搬作業が行われるとともに、輸送時間の短縮につながり、作業効率の向上及び生産性の向上を目指すものであります。

トンネル本体工事の事業費は、約４３億８，２５０万円、トンネル延長１．４２km、進捗率は８５％で、工期は令和５年３月１５日～令和９年１月２９日であり、残工事としては覆工、排水工、舗装工、坑門工であります。

また、別途発注工事として、トンネル内照明施設工事、トンネル内防災施設工事、尾浦側の取付工事も同時進行で行われており、全ての工事完了工期は、令和９年３月末を予定されています。

しがしながら、昨今の中東情勢の影響による、建設資材等の入荷不足による影響を懸念しているとのことであります。

委員からは、工事用車輛やゴミ収集運搬車輛により、現道の破損が予測されるが、補修工事等は地元要望等に応え、安全管理の徹底を図り工事完成に尽力して頂きたい。

トンネル内完成後、緊急連絡整備として、携帯通話可能トンネルとして県や関係機関と協議して頂きたい。などの意見がありました。

以上で、産業建設委員会の閉会中の所管事務調査報告を終わります。